

サブテレニアン主催
板橋ビューネ 2017

《公募参加団体》
2017 年度募集要項・応募用紙

板橋ビューネは、実験的・未完成的な舞台芸術の創造とそのプロセスを失わないために、アーティストによって発案され、アーティストによって運営されています。2017年10月6日から12月3日に行われる演劇祭において、2017年11月6日-19日（東京）に出展する作品を公募いたします。

皆様のご応募お待ちしております。

《目次》

- 板橋ビューネについて・・・p. 2
- フェスティバルについて・・・p.3
- プログラム概要（東京）・・・p. 4-5
- 応募・締切のスケジュール・・・p. 6
- 応募に際しての注意事項・参加条件・・・p. 6
- 応募から決定まで・・・p. 6
- 実行委員会について・・・p. 7
- サブテレニアンについて・・・p. 8
- お問い合わせ・アクセス・・・p. 9
- 応募用紙・・・p. 10-11

なお、ご応募は下記までお願いいたします。連絡先は劇場と兼用ですので、お電話・メールでの連絡の際には「板橋ビューネについて」と分かるように一言仰っていただくとスムーズです。

《連絡先》

080-4205-1050 (赤井)

info@subterranean.jp

〒173-0013 東京都板橋区氷川町 46-4 B1F サブテレニアン

「板橋ビューネ」宛

締め切り：3月20日

板橋ビューネについて

「板橋ビューネ」は2013年に始まった舞台芸術祭です。

2013年には4都市8団体の劇団が参加しました。2014年には、東京・名古屋の二都市で行い、韓国の劇団も招聘しました。2015年には、東京・札幌の二都市で行い、地域の演劇人との関わりを深めています。日本の様々な地域から、また世界から参加できる演劇祭を目指しています。

このフェスティバルの目的は、既存のテキストを用いて、新しい解釈・演技・演出によって古典の魅力を引き出すことです。芸術に必要な「独創性」や「オリジナリティ」、「個性」といったものは、果たして舞台芸術にとって何を意味するのでしょうか。果たして、テキストの「独創性」だけが舞台芸術の“新しさ”なのでしょう。私たちは少し遡って、俳優と観客が演劇を形作るという課題に立ち返ってみたいと思います。誰もが知っている古典戯曲を取り扱うことで、舞台芸術にとって最も重要な要素——俳優と観客——が創造するフェスティバルを目指したいと思います。

上演は常に現在地点でしか行われません。「古典」は「古典」として読まれるだけでは同時代性を持ちません。それが上演され、息を吹きかけられ、新しい解釈を得ることで同時代性を手にすることができます。私たちは、歴史を抜きにして「イマココ」を理解することはできませんから、「古典」に触れることで初めて現代性を獲得することができるのだと思います。テキストは単なる読み物ではなく、俳優と観客の間で育まれるべきものです。

その意味で、舞台芸術は常に未完成的であり、生成的であり、未熟な芸術なのでしょう。それは、大規模な劇場であっても、私たちのような小規模の劇場であっても同じことです。まだ完成も熟練もしていないカンパニーのエネルギー。不器用でも「古典」に息を吹き込むことに重きを置いています。

サブテレンイアンは決して恵まれた劇場ではありません。不便な部分もあると思います。しかしそれを不便と考えず、魅力とを感じる方を求めます。そしてそういう場所でやるからには漫然とした作品はいりません。先鋭的な作品を求めます。私たちは、新しい演劇を作る担い手と、その観客を求めています。

《これまでのテーマと参加劇団（上演順）》

■2013年「古典の上演」

：NUDO（東京）、ヘアピン倶楽部（東京）、M.M.S.T（福岡）、劇団ドクトペッツパズ（東京）、長堀博物館◎プロデュース5（東京）、劇団総合芸術会議（東京）、雲の劇団雨蛙（島根）、三木美智代 in 風蝕異人街（札幌）

■2014年「イブセン以前」

：NUDO（東京）、劇団MIR レパトリー（韓国）、ヘアピン倶楽部（東京）、テアトロ・マアルイ in 風蝕異人街（札幌）、メガロシアター（神奈川）、空（utsubo）（東京）、雲の劇団雨蛙（島根）、劇団妖帝デカダンス（名古屋）、楽園王（東京）

■2015年「Public/Hazard」

：キレイゴト。（東京）、ひよっこり船（東京）、劇団さぼてん（東京）、劇団MIR レパトリー（韓国）、フジタイセイ from 劇団肋骨蜜柑同好会（東京）、DEAD THEATER TOKYO（東京）、ヘアピン倶楽部（東京）、EgHOST（東京）、7度（東京）、楽園王（東京）、テアトロ・マアルイ in 風蝕異人街（札幌）、F A P'S企画（札幌）、雲の劇団雨蛙（島根）

■2016年「ナンセンスはアナーキズムである」

：雲の劇団雨蛙（島根）、楽園王（東京）、ペリカン船（東京）、ガクタミ（東京）、サイマル演劇団（東京）、テラ・アーツ・ファクトリー（東京）、劇団MIR レパトリーシアター&YAEGIシアター（韓国）

2017年フェスティバルについて

2013年より開催してきた「板橋ビューネ」も、今年で5年目となりました。

演劇祭を担う中堅の劇団が創造しやすい環境を作っていくこと、若手の劇団が芸術活動に集中しやすい枠組みを作っていくことを目指してきました。

おかげ様で、板橋ビューネに参加くださった劇団同士に交流が生まれたり、会場であるサブテニアンと提携公演をする劇団も生まれることになりました。

また、板橋ビューネは、地方都市に居を構える劇団と交流を続けています。これまで、名古屋、札幌、島根と日本の地方を巡ってきました。また、国を超えて韓国と交流を続けてきたおかげで、今年は韓国公演を組むことができました。行政のプログラムではなく、市井の劇団同士が国を超えてつながるといのは、演劇への情熱があってこそなせることだと思います。

2000年を過ぎた辺りから、「劇団活動を行う」ということの、様々な不具合や問題が前景化されてきたように思います。バブル期から商業主義演劇へ至る、「劇団」という集団創作の形態は、貧困の21世紀を生きなければならない今日の状況においては、維持することすらままならず、むしろ芸術家の創造力を削ぐような無益な労力を費やすだけの活動になってしまったように思えます。

私たちは、いつまでも芸術家のための演劇祭であり、芸術家による演劇祭であろうと思います。「演劇とは何か」を今日的視点から改めて問い直し、芸術家のための演劇活動を実現したいと思っています。

ささやかな活動の場所ではありますが、キャリア・年齢問わず、多くの人に応募していただきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

板橋ビューネ実行委員会

プログラム概要

スケジュール：2017年11月6日-11月19日

募集团体：2団体

公募条件：古典戯曲を上演すること（作者が既に亡くなっており、50年以上経過しているもの）

キャパ：自由（各劇団が自由に定めることができます。但し、各公演毎数席は関係者及び批評家・レビュー用座席を用意させていただくことがあります）

チケット：各劇団の定めるところによる。

※但し、通し券（金額未定）を演劇祭扱いで用意させていただきます。

※チケット収入は全て劇団受益となります。

【公募・一般団体】

参加費：11万円（会場費・演劇祭運営費として）

①2017年11月6日-12日（七日間）

②2017年11月13日-19日（七日間）

上記期間内であれば、仕込み・劇場稽古・本番日をどのように設定くださっても構いません。

※応募団体と調整の上、板橋ビューネ実行委員が上演スケジュールを決定します。

【公募・地方団体】関東近郊以外の地域から応募される劇団へ、**料金減免**などの優遇がございます。

チケットを捌き辛い東京での公演、東京進出またはツアー先の一つとして東京を選んでいただければと思います。

参加費：7万円（会場費・演劇祭運営費として）

※関東近郊以外の地域に籍を置く劇団のみ

①2017年11月6日-12日（七日間）

②2017年11月13日-19日（七日間）

上記期間内であれば、仕込み・劇場稽古・本番日をどのように設定くださっても構いません。

※応募団体と調整の上、板橋ビューネ実行委員が上演スケジュールを決定します。

- ・利用方法について

応募いただいた日程を劇団の定める形で好きなようにお使いいただけます。経済的な理由で劇場稽古の日数が限られていたり、制作的な手が足りずにワークショップやトークなどの関連企画を実現できなかったり、作品をブラッシュアップするためにご利用いただければと思います。

- ・フェスティバル参加特典

板橋ビューネに参加される劇団は、割引料金でサブテレニアンを稽古利用することができます。

- ・スタッフについて

2016年よりフェスティバルでは音響・照明スタッフは雇わない方針になりました。各劇団で舞台監督・照明・音響スタッフなど、公演に必要なスタッフをご用意ください。

※各種スタッフをそろえることが難しい場合は、ご相談いただければ演劇祭よりスタッフを斡旋することが可能です。

- ・制作について

フェスティバルでは、「チケット管理」「フライヤー印刷・送付」の業務を行います。稽古場などは各自で確保してください。

- ・会場

サブテレニアン

〒173-0013 東京都板橋区氷川町 46-4 B1F

- ・設備等

下記ウェブサイトよりご確認ください。

<http://subterranean.jp/guide.html>

応募・締切のスケジュール

締切：3月20日

応募に際しての注意事項・参加条件 (2016.12.01ver.)

《制作周りについて》

- ・フライヤーは共同出資したものを使用します。

《運営について》

- ・メーリングリストへの参加をお願いいたします。
- ・不定期で行われる実行委員会にもご参加いただければ幸いです。

→参加の規模やこれまでの実施例など、お気軽にご質問ください。これまでの事例を含めてお答えいたします。

応募から決定まで

①応募準備

- ・応募用紙にご記入ください。
- ・過去公演のチラシ、上演DVDなどがあれば、ご用意ください。
(映像は、you tube など、ブラウザ上で閲覧できるものがあれば、その URL を教えていただく形でも構いません。)

②応募（締切：3月20日）

- ・資料を郵送にてご応募ください。（メールにての申請は受け付けません）

③決定（3月末頃）

- ・参加の可否を決定した旨、ご連絡いたします。連絡は全員にお送りいたします。

《応募・資料郵送先》

info@subterranean.jp

〒173-0013 東京都板橋区氷川町 46-4 B1F

サブテレニアン「板橋ビューネ」宛

実行委員会について

板橋ビューネは、実行委員会によって運営されています。

現在、実行委員会の会員は、

- ・赤井康弘（サイマル演劇団）
 - ・長堀博士（楽園王）
 - ・よこたたかお（静岡県舞台芸術センター-S P A C）
- です。

会は、不定期で行われています。この委員会には、参加する団体の関係者全ての人が参加することができます。詳しくは、メーリングリストより委員会の開催時期、内容などをご確認ください。

メーリングリストについて

板橋ビューネにご参加いただけるカンパニーより最低一名以上、下記メーリングリストに加入いただきます。事務的な連絡などはこちらで行います。登録につきましては、こちらから招待を送りますので、登録手続きを行っていただく形になります。

各種資料ダウンロード

——サブテレニアン平面図（PDF）

<http://subterranean.jp/heimensubte.pdf>

——サブテレニアンバトン・回路図（PDF）

<http://subterranean.jp/batonkairo.pdf>

——サブテレニアン備品リスト（HTML）

<http://subterranean.jp/bihina.html>

サブテレニアンについて

SUBTERRANEAN は客席数 40～50 名の演劇、ダンス、トークイベントなどでお使いいただける小屋です。

自主企画の公演やロングラン公演、建て込み稽古からそのまま本番での使用、公開稽古等、ほかの劇場では難しいことも SUBTERRANEAN では可能です。

決して広くはない小屋ですが、皆様の溢れるアイデアを形にして下さい。

"Subterranean" は"地下の"という意味です。

ジャック・ケルアックの小説"The Subterraneans"からとりました。

日常からはこぼれ落ちて、埋もれてしまうようなアイデアや企画を 発表できる場でありたいと願っています。

SUBTERRANEAN
演劇フリースペース・サブテレニアン

主な事業

●劇場運営

都内でも有数の価格帯で、これまで若手のカンパニーに多くご利用いただいています。

——仕込・本番：25,000 円／1 日(9-23 時)、設備使用料：5,000 円／日(9-23 時)
(一部追加料金あり)

——公演パックプラン：

1 週間パック(7days) ---- 200,000 円 (設備使用料込)

2 週間パック(14days) ---- 320,000 円 (設備使用料込)

●稽古場として

サブテレニアンは稽古場としても利用することができます。

——長期割引

10 日以上～5 パーセント割引 13,000×10=130,000 のところ 123,500 円
(※長期割引あり)

——公開稽古プラン・稽古場レポートプラン：8,000 円／1 日(9-23 時／光熱費込)、7,000 円／半日(9-17 時、17-23 時／光熱費込)(長期割引なし)

——稽古場サポート：5,000 円／半日(9-17 時、17-23 時／光熱費込)

サブテレニアンで公演を行う団体に限り、稽古場料金を割引きます。ご利用日の一ヶ月前より予約の受付を開始します。

●演劇祭「板橋ビューネ」主催

年に一回、演劇祭を開催します。

●提携公演の実施

劇場が支援する形で劇団と提携して、上演を行っております。

●別冊サブテレニアンの発行

不定期で「別冊サブテレニアン」というフリーペーパーを発行しております。

※これまでのインタビュー掲載例

橋本清 (ブルーノプロデュース)、劇団満塁鳥王一座、白鳥英一 (OtoO Presents)、石神夏希 (ペピン結構設計)、生田恵 (三角フラスコ)、荻野欣士郎 監督など

お問い合わせ・アクセス

サブテレニアン
代表者：赤井康弘

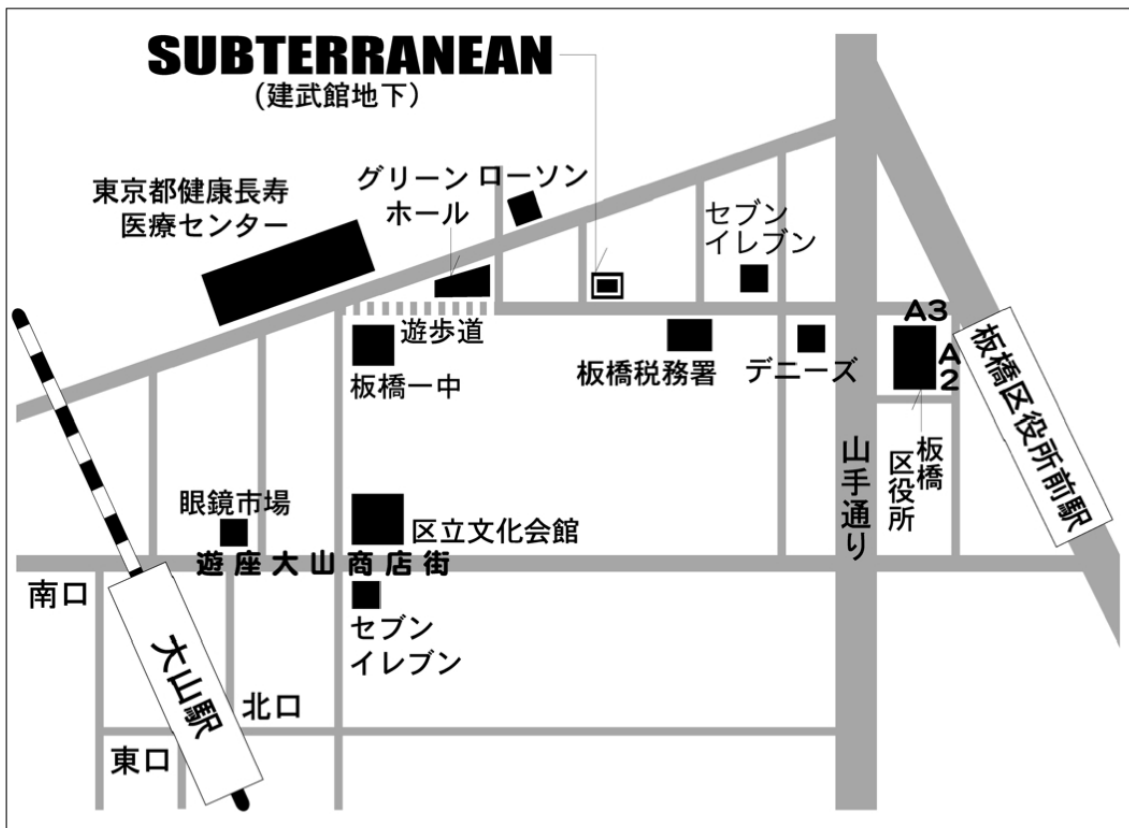
住所：〒173-0013 東京都板橋区氷川町 46-4 B1F
TEL：080-4205-1050（赤井）
E-MAIL：info@subterranean.jp

■大山駅よりお越しになる場合：

- 1.（南口から）南口を出たら右に進み、踏切を渡り、そのまま直進。
（東口から）東口を出たら駅の地下歩道をくぐり、北口前のファミリーマートの角を左に進み、突き当たりの眼鏡市場を右に曲がる。
- 2.遊座大山商店街を進み、板橋区文化会館とセブンイレブンのある交差点を左に曲がる。
- 3.大きな道路にぶつかる信号の手前で右に曲がり、遊歩道に入る。
- 4.遊歩道を過ぎ、左手に建武館というキックボクシングジムが現れたら、その建物の地下です。

■板橋区役所前駅からお越しになる場合

- 1.A3出口を出て左に曲がる。
- 2.山手通り（上に首都高があります）を渡り、デニーズの右どなりの道を直進。
- 3.右手に建武館が現れたら建物をクルッとまわると、そこが入り口です。



板橋ビューネ 2017 募集用紙

フリガナ		フリガナ	
団体名		連絡先の 代表者名	
電話 番号	(自宅) (携帯)		
住所	〒		
メール アドレス			

上演予定のタイトル（原作者名含む）：
演出プラン：

これまでの活動・応募動機（箇条書きでも構いません。また、出展予定の作品概要）

--

提出資料についての説明（チラシ、映像など）

--

希望日程（①②の番号で記載。）

第一希望：	第二希望：	その他：
-------	-------	------

公募種類（丸をつける）

一般団体	地方団体
------	------

